

【最優秀賞】

「下3ケタ投資」が日本を救う！
～グリーンファンドが照らす未来～

東京経済大学経済学部

面手 智也

菊池 小百合

経営学部

蟻田 祥子

山本 夏子

(提言の要約)

今年 3 月 11 日の東日本大震災は、東日本の被災地にとどまらず、日本の社会全体にとって大きな打撃となった。その中でも福島第一原発事故については、国民一人一人が原発の是非を問われることになった。この状況から現在、原発に代わるエネルギーとして、いわゆる自然エネルギーが注目されている。そして、自然エネルギー発電の開発・運営を目的とする自然エネルギー事業は、資金を集める手段の一つとしてグリーンファンドを利用している。

一般に、現行のグリーンファンドは比較的高額な購入単位を設けており、高額な購入単位によって仮に投資家が限定されているならば、自然エネルギー事業に貢献したいと思っている人や、興味を持っている多くの人が実際には投資に参加できていないのではないかと懸念される。

そこで、私たちは少額から投資できるシステムである「下 3 ケタ投資」を提案する。私たちが預貯金を引き出すのにしばしば使うのは、コンビニエンスストアに設置されている ATM である。その ATM では、一般的に硬貨を引き出すことができない。硬貨を引き出せない結果として、預貯金口座には常に 1000 円未満の端数の残高が残される。「下 3 ケタ投資」とは、この残高の端数である下 3 ケタを毎月投資に回し、有効に使おうというアイデアである。現行のグリーンファンドのような高額な購入単位ではなく、下 3 ケタという少額からの投資を採用することで、グリーンファンドに投資する投資家の範囲の拡大を期待できると思われる。

さらに、投資家は事業の成功による投資のリターンの他に、自然エネルギーへの理解をさらに深めることができる「マイページ」サービスを受けられるような制度工夫を提案したい。「マイページ」上では、投資家の累積投資金額の確認や、発電所の日々の発電量を知ることができる。また、自然エネルギー関連のニュースを閲覧することができ、発電所管理者と直接コミュニケーションを取ることができる場を設けることとする。さらに、毎月自然エネルギーを題材としたイベントを開催し、イベントの参加者及び受賞者にはポイントを付与し、集めたポイントに応じて自然エネルギー関連商品と交換することができる。「マイページ」サービスを通じて、自然エネルギーへの興味や理解を示す人が一人でも増えることを期待したい。

小さな一歩である「下 3 ケタ投資」を通じて、多くの人に投資と自然エネルギーへの理解を深めてもらい、日本の将来の展望が大きく変わる大きな一歩となることを切に願う。

1. はじめに

今年 3 月 11 日の東日本大震災は、東日本の被災地にとどまらず、日本の社会全体にとって大きな打撃となった。その中でも福島第一原発事故については、国民一人一人が原発の是非を問われることになった。この状況から現在、原発に代わるエネルギーとして、いわゆる自然エネルギーが注目されているⁱ。そして、これらの自然エネルギー発電の開発・運営を目的とする自然エネルギー事業は、開発資金を集めるためにグリーンファンドを利用している。

一般に、現行のグリーンファンドは比較的高額な購入単位を設けており、投資できる投資家が自ずと限定される。そこで私たちは、現行のグリーンファンドのような高額な購入金額という制約に対して、少額からの投資システムである「下 3 ケタ投資」を提案する。これにより、自然エネルギー事業の今後の発展に貢献する投資家を増やしたいと考えている。さらに、投資家に対し自然エネルギーに関する情報提供を行う「マイページ」サービスを提案し、自然エネルギーへの興味や理解を示す人が一人でも増えることを期待したい。

以下では、2 章と 3 章で自然エネルギーとグリーンファンドの現状と問題点を議論し、4 章で私たちが提案する「下 3 ケタ投資」と「マイページ」について説明する。5 章では提案を実行する上での課題について検討し、また、6 章では、提案に関する質問と投資に関する姿勢のアンケート調査を踏まえながら、提案の実行性を考察し、7 章で結びとする。

2. 自然エネルギー

一般に自然エネルギーとは、資源が有限で枯渇性の石炭・石油などの化石燃料や原子力とは異なって、太陽光・太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など自然現象の中でエネルギー資源が再生されるエネルギーのことであるⁱⁱ。

上記のような自然エネルギー発電の開発・運営を目的とする事業として、自然エネルギー事業が存在する。自然エネルギー事業の特徴でもあり、大きな課題の 1 つとして、開発初期段階にかかるコストが非常に高いことが挙げられる。一方で、開発が無事終了して事業が運営段階に入ると、継続的に安定した収入を得ることができる特徴もある（図表 1 参照）。つまり、開発初期段階における資金調達が必要成功への第一歩なのである。

そこで、自然エネルギー事業者の中で開発初期段階コストの調達手段として活用されているのがグリーンファンドである。

3. グリーンファンド

グリーンファンドとは（以下 GF とする）、自然エネルギー事業を対象に投資

を行うファンドである。現行の GF の例として、おひさまファンド 2009 は購入単位 10 万円または 50 万円と高額にもかかわらず、出資者は 145 名で募集総額は 7520 万円となっている。また、市民風車ファンド 2008 石狩匿名組合の例を挙げると、購入単位は 50 万円で 470 口が集まり、募集総額 2 億 3500 万円という結果であった。これらの例から、現行の GF は高額な購入単位を設定しているにもかかわらず、多額な資金を集めており、投資家の GF に対する関心は高いと考えられる。しかしながら、高額な購入単位によって仮に投資家が限定されているならば、自然エネルギー事業に貢献したいと思っている人や、興味を持っている多くの人が実際には投資に参加できていないのではないかと懸念される。

私たちは、より多くの投資家が GF へ投資し、自然エネルギーへの関心・理解を持つ人が一人でも多く増えることを期待している。そして、将来的には原発や火力発電に比べて環境面で優れている自然エネルギー発電を現状よりもさらに普及させていきたいと考えている。さらに、原発事故を受けて電力がいかに大切であるかを気づかされた今こそ、日本国民が一丸となり電力供給の問題に正面から向き合う必要があると考える。そこで、①自然エネルギー事業に対して一人でも多くの投資家を増やすために少額から投資できるシステムである「下 3 ケタ投資」を提案する。さらに、この投資をきっかけとして GF や自然エネルギーへの理解をより深めてもらうために、②自然エネルギーに関する情報提供を行い、投資家がより自然エネルギーに対して興味や関心が持てる「マイページ」システムを併せて提案する。

4. 私たちの提案

4-1. 「下 3 ケタ投資」

私たちは、少額から投資できるシステムである「下 3 ケタ投資」を提案する。私たちが預貯金を引き出すのによく使うのは、コンビニエンスストアに設置されている ATM である。その ATM では、硬貨を引き出すことができない。硬貨を引き出せないことを疑問に思った私たちは、複数の金融機関にその件を問い合わせしてみた。その結果、どの金融機関からも、「硬貨を引き出せる ATM は故障しやすいため、コンビニエンスストアには、硬貨を引き出せる ATM は設置していないことが多い」という回答を頂いた。硬貨を引き出せない結果として、預貯金口座には常に 1000 円未満の端数の残高が残される。この残高を有効に使えないだろうかと考え、以下の「下 3 ケタ投資」を提案したいⁱⁱⁱ。

「下 3 ケタ投資」とは、投資家が所有している預貯金残高の下 3 ケタを毎月

投資に回し、残高の端数である下 3 ケタを有効に使おうというアイデアである。現行の GF のような高額な購入単位ではなく、下 3 ケタという少額からの投資を採用することで、GF に投資する投資家の範囲を拡大することが期待できると思われる。「下 3 ケタ投資」の具体例を挙げると、投資家の預貯金口座残高が 114,326 円の場合、下 3 ケタの 326 円が投資金額となる。下 3 ケタを投資した後は、114,000 円が口座に残される。翌月の投資までに、口座内では給与の振り込みや公共料金の引き落としなどがあり、114,000 から 108,862 円といったように、下 3 ケタが変化するはずである^{iv}。そして、108,862 円のうち、下 3 ケタの 862 円を投資する。この流れを繰り返し、GF への投資を続けていく（図表 2 参照）。このように、「下 3 ケタ投資」は単純で少額から始められるシステムだと考える。また、GF へ投資した後、事業が順調に進むならば、現行の GF と同じように事業からの利益が還元されることが期待される。

このシステムでは、投資家が所有する口座を管理する金融機関^vの協力を求めたい（図表 3 参照）。投資家と GF の間を金融機関が仲介することで、両者の資金の融通が簡易化されるとともに、金融機関はこの仲介から手数料収入を得られる^{vi}。ここで金融機関は、投資家が GF への投資を決定したことを GF に通知する。さらに、投資家の預貯金残高の下 3 ケタを自動的に毎月 GF に送金し、その記録は投資家の預貯金通帳に記載される。

4-2. 「マイページ」

投資家は事業の成功による投資のリターンの他に、GF の「マイページ」サービスを受けられるような制度工夫を提案したい。「マイページ」上では、投資家の累積投資金額の確認や、発電所の日々の発電量を知ることができる（図表 4 参照）。投資した資金で事業が進行し、電力が作られている実感を持つことで、投資をしていることに対し満足感が得られると考える。また、自然エネルギー関連のニュースを閲覧することができ、発電所管理者と直接コミュニケーションを取ることができる場を設けることとする（図表 5 参照）。発電事業を長期的に行っていくには、事業を理解しそれを応援してくれる投資家の存在が必要不可欠だと考えられる。「マイページ」上で情報の開示や対話を行うことで、長期的な応援に繋がると思われる。さらに、毎月自然エネルギーを題材としたイベントを開催し^{vii}、イベントの参加者及び受賞者にはポイントを付与し、集めたポイントに応じて自然エネルギー関連商品と交換することができる（図表 6 参照）。このイベントは、投資家の自然エネルギーに対する理解へのモチベーションを向上させる機会を提供する場であると考えている。

この「マイページ」は、パソコン、携帯電話、スマートフォンから閲覧可能

にし、時間や場所を問わず自然エネルギーに関する幅広い情報にアクセスできるように設計する。投資家に対し現金の還元他に「マイページ」サービスを提供することで、投資家の自然エネルギーへの理解をさらに深めることが期待される^{viii}。

「マイページ」上では、投資家は GF から「マイページ」ID とパスワードを付与され、GF からの「マイページ」サービスを受けられる^{ix}。GF と投資家が情報のやり取りや自然エネルギー関連商品の受け渡しなどの直接取引をすることで、先ほどの「下 3 ケタ投資」の仕組みとは異なり金融機関の仲介の必要はなくなる（図表 7 参照）。

5. 提案を実行する上での課題

上記のように、「投資家が所有する預貯金口座残高の下 3 ケタ（1～999 円）を GF に毎月投資すること」、「投資家は事業の成功による投資のリターンの他に、GF のマイページサービスを受けられること」の 2 つが私たちの提案である。この提案を実行する上での課題の 1 つは、GF 側の「マイページ」運用コスト^xをどう捻出するかである。コストを賄うための手段の一例として、投資家が「マイページ」に登録する際に、投資家からデポジットを徴収することを考えている。しかしながら、デポジットを徴収することは投資家のリターンを減少させてしまうため、この課題については今後も検討する必要があると考えている^{xi}。

6. アンケート調査の実施

以上論じてきたことに対し、そもそも一般の消費者の預貯金口座にある下 3 ケタの現状、投資に対する認識を把握するとともに、私たちの提案の実行性を考察するため、10 代から 60 代の預貯金口座を所有する一般の消費者 118 人に対してアンケート調査を行った（図表 8 参照）。

私たちは、一般の消費者の下 3 ケタの現状について質問を設けた。その結果、「下 3 ケタを引き出したことは全くない」という回答が 81%にも及んだ（図表 8 質問 2 参照）。さらに、「下 3 ケタを引き出す必要性をあまり感じたことがない」という回答が 74%となった（図表 8 質問 3 参照）。これらの結果から、一般の消費者は、下 3 ケタの金額を有効に生かし切れていないと解釈できると思われる。

続いて投資に関する質問を設けたところ、投資は「難しそう」「お金がたくさんかかる」という回答が多く寄せられた（図表 8 質問 5 及び 7 を参照）。私たちの提案である「下 3 ケタ投資」をするという単純かつ少額から始められる投

資方法であれば、投資に興味を持ってない、または、興味はあるが実際に投資をしたことがない一般の消費者にも参加が容易な投資だと思われる。

さらに、「下3ケタ投資」について、「ぜひやってみたい」「少し興味がある」という前向きな回答が45%寄せられた（図表8 質問9 参照）。アンケート結果では45%の人が「下3ケタ投資」に前向きな考えを示していたが、仮に日本の人口の10%である1200万人が「下3ケタ投資」を実行すれば、1年間で720億円を集めることが可能である（図表9 参照）。このように、「下3ケタ投資」では、一人当たりの投資金額が少なくとも、多くの人に参加すれば莫大な資金を集めることが可能であり、この意味で「塵も積もれば山となる」典型例とも言える。

7. おわりに

今回発生した地震によって、私たちの生活に欠かせない電力供給の問題に関して国民一人一人が考える機会が増えたように思える。仮に、私たちが原発や火力発電より環境面で優れている自然エネルギー発電に興味を抱いたとしても、現行のGFは一般に購入単位が大きいので、投資をするために多額な資金が必要である。しかし、私たちが提案した「下3ケタ投資」は、投資金額が1~999円と少額で、一般の消費者にも投資への参加が容易であると考えられる。さらに、「マイページ」を利用して、投資家に自然エネルギーに関する様々な情報を提供することで、より多くの人に自然エネルギーに関心を持ってもらいたいと考えている。

私たちに残された課題は、5章で述べた課題の他に、アンケート結果で「投資に興味がない」と回答した人が多く存在したことから、そのような人が投資に関心を持つようになるにはどのような工夫をすればよいかを検討することである。

まだ課題が多く残された私たちの提案であるが、小さな一歩である「下3ケタ投資」を通じて、多くの人に投資と自然エネルギーへの理解を深めてもらい、日本の将来の展望が大きく変わる大きな一歩となることを切に願う。

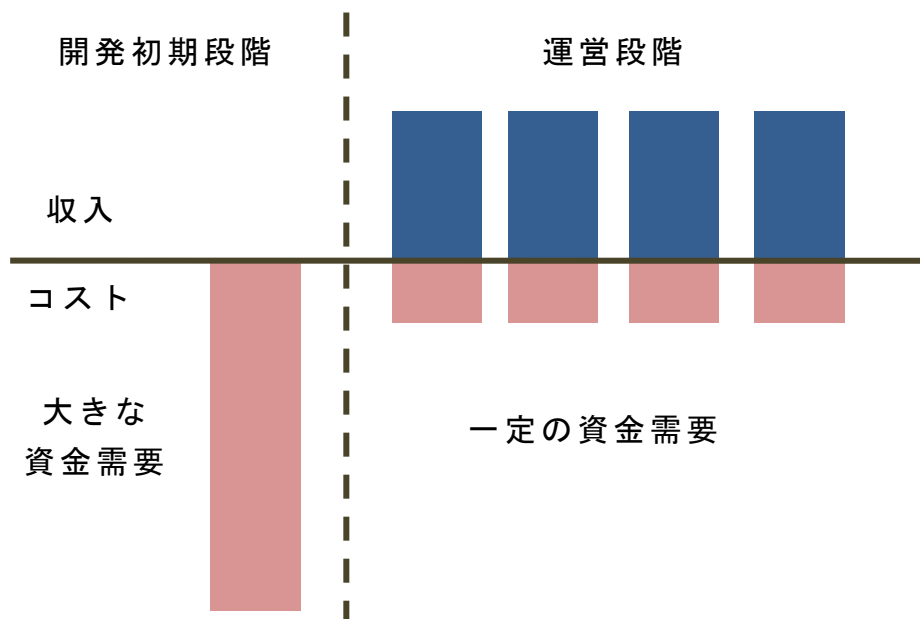
《参考文献》

- ◆ 手作りエネルギー研究会編「自然エネルギー大全」社団法人家の光協会（2005年）
- ◆ 飯田哲也編「自然エネルギー市場 新しいエネルギー社会のすがた」菊池書館株式会社（2005年）
- ◆ 藤井照重編著、中塚勉・土本信孝・毛利邦彦「よくわかる考え方と実証例 環境にやさしい 新エネルギーの基礎」森北出版株式会社（2007年）
- ◆ 中村太和「環境・自然エネルギー革命 食糧・エネルギー・水の地域自給」日本経済評論社（2010年）
- ◆ 鳥越皓之・小林久・海江田秀志・泊みゆき・山崎淑行・古谷桂信「地域の力で自然エネルギー！」岩波書店（2010年）
- ◆ 田村威「投資信託 基礎と実務」経済法令研究会（2010年）
- ◆ 近藤光男・釜田薫子・志谷匡史・石田眞得「基礎から学べる 金融商品取引法」弘文堂（2011年）
- ◆ 飯田哲也「1億3000万人の自然エネルギー」講談社（2011年）
- ◆ 日本経済新聞 2011年8月29日夕刊記事「震災復興に個人マネー、関連ファンド拡大、総額1500億円規模」

《参考HP》

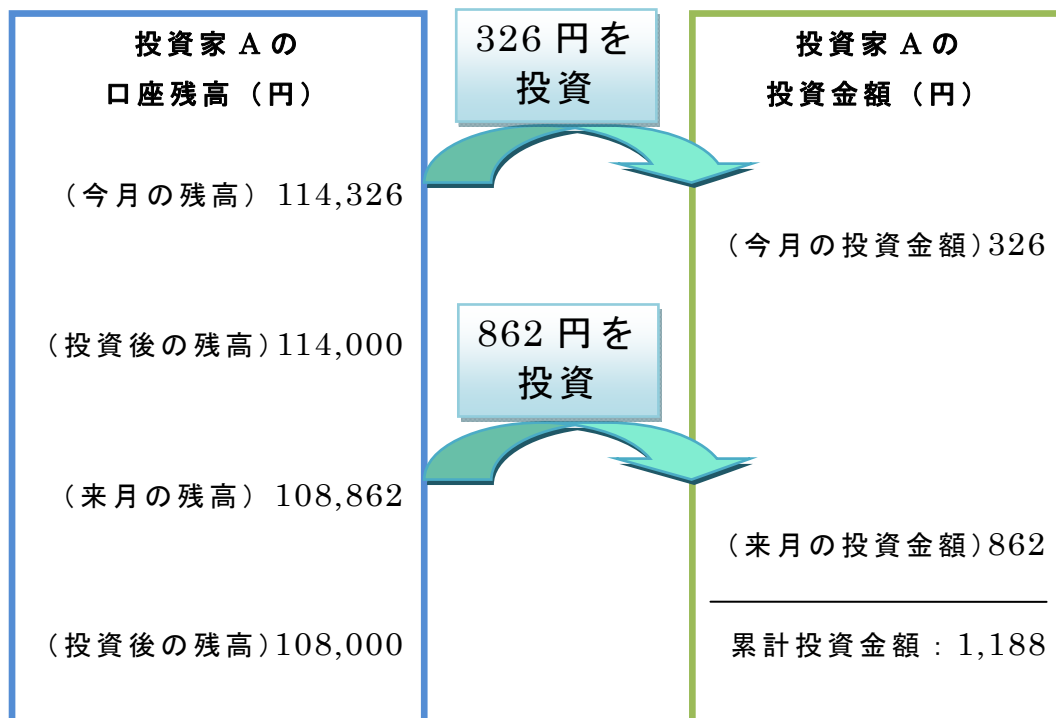
- ◆ おひさまエネルギーファンドHP
<http://www.ohisama-fund.jp/index.html>
- ◆ 株式会社自然エネルギーファンド株式会社HP
http://www.greenfund.jp/fund/fund_2008ishikari.html
- ◆ 北海道グリーンファンドHP
<http://www.h-greenfund.jp/>
- ◆ 自然エネルギーファイナンスの展開～環境エネルギー社会への想像力と実践～
<http://synodos.livedoor.biz/archives/1770551.html>
- ◆ 自然エネルギー白書2010
<http://www.re-policy.jp/jrepp/JSR2010/index.html>
- ◆ 自然エネルギー白書2011
<http://www.re-policy.jp/jrepp/JSR2011/index.html>

図表 1 自然エネルギー事業コスト



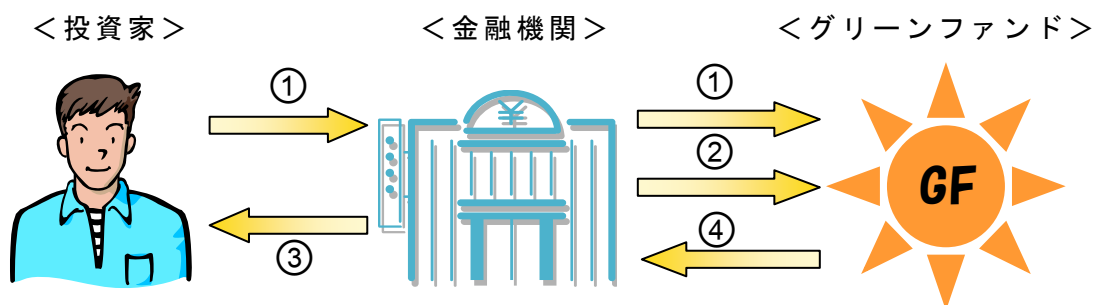
出典:「自然エネルギーファイナンスの展開～環境エネルギー社会への想像力と実践～」より筆者作成

図表 2 「下 3 ケタ投資」の仕組み



筆者作成

図表 3 金融機関仲介による投資家・GFの関係図



- ① 金融機関は投資家の GF への投資申し込みを受け、投資家が GF への投資を決定したことを GF に通知する。
- ② 金融機関は投資家の口座残高の下 3 ケタを毎月 GF へ送金する。
- ③ 金融機関は投資家に下 3 ケタを GF へ送金したことを投資家の通帳に記載する。
- ④ GF は金融機関に手数料を支払う。

筆者作成

図表 4 マイページ①

しらかわグリーンファンドマイページ

ようこそ！にちぎんはなこさん

にちぎんはなこの投資金額

投資開始日：2010年5月21日～
 前回の投資日：2011年9月21日～

合計：7,416円



自然エネルギーを育てよう
美しい日本への第一歩

しらかわグリーンファンド参加人数
2万人突破！！（2011年9月）

みなさんの累計投資金額
1億4706万530円（2011年9月21日現在）

2011年9月27日（火曜日）

天気：快晴



発電中！

16：20現在の発電量

12.14kWh

筆者作成

図表 5 マイページ②

しらかわグリーンファンドマイページ

ようこそ！にちぎんはなこさん

自然エネルギー NEWS

NEW

- ・しらかわGFが日銀新聞に取り上げられました！(2011年9月15日 日銀新聞朝刊)
- ・政府が自然エネルギー事業に対する特別予算を発表(2011年9月14日 日銀新聞夕刊)
- ・西村代表(株式会社グリーンファンドカンパニー代表取締役)、自然エネルギーの将来性を語る(日銀エコロジー8月号 11ページ)

コミュニケーション広場

kanriA 5分前
今日も順調に発電中です！今夜の自然のチカラTVで風力発電特集を放送するようですよ！
#ShirakawaGF

NichiginHanako 13分前
@kanriB
観ます(´o`)！！ #ShirakawaGF

kanriB 15分前
今日は快晴です！ gfpphoto0032
#ShirakawaGF

筆者作成

図表 6 マイページ③

**自然エネルギー川柳 開催！
(11/30まで！)**

参加者には30ポイント
最優秀賞の方には200ポイントをプレゼント！
集まったポイントでお好きな商品と交換できます♪

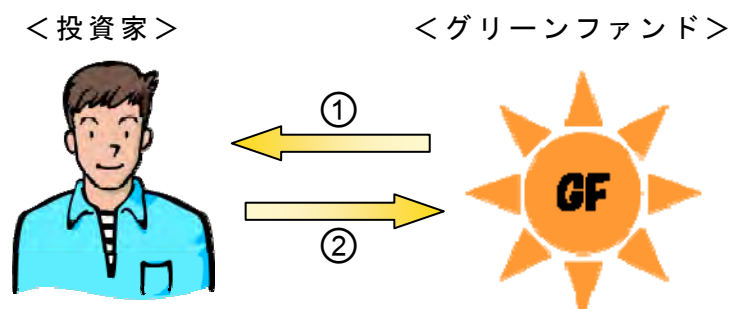
～商品一例～

500ポイント
「自然エネルギーで作られた
ビール1ケース」

100ポイント
「自然エネルギーで作られた
タオル4枚セット」

筆者作成

図表 7 投資家・GF の関係図



- ① 投資家は GF から「マイページ」ID とパスワードを付与される。
- ② 投資家は「マイページ」上で開催される自然エネルギー関連イベントに参加し、ポイントを集めることで、GF に自然エネルギー関連商品を要求することができる。

筆者作成

図表 8 アンケート調査結果

	質問内容	回答項目選択	各項目別回答者数
1	預貯金口座をいくつお持ちですか	記入式	平均 2.41 口
2	ATM で硬貨（預金残高の下 3 ケタ）を引き出したことはありますか	A 頻繁に引き出す	4
		B 頻繁ではないが引き出す	8
		C 1～2 回引き出したことがある	10
		D 全くない	96
3	（2 で B～D と回答した方）頻繁に引き出さないのはなぜですか	A あまり引き出す必要性を感じたことがない	87
		B 引き出したくとも引き出せない	21
		無回答	6
4	投資に興味がありますか	A 興味がある	42
		B 興味がない	76
5	（4 で B と回答した方）なぜ興味を持ってないのでしょうか（複数回答可）	A 難しそう	55
		B お金がたくさんかかる	27
		C 魅力的な投資先がない	10
		D その他	8

6	(4でAと回答した方) 実際に投資をしたことがありますか	A ある	11
		B ない	29
		無回答	2
7	(6でBと回答した方) なぜ興味があっても投資をしないのでしょうか (複数回答可)	A 難しそう	16
		B お金がたくさんかかる	10
		C 魅力的な投資先がない	1
		D その他	2
8	(5または7でBと回答した方) いくらからなら投資してもよいと思えますか	A 下5ケタ (1万円~9万円台)	15
		B 下4ケタ (1千円~9千円台)	7
		C 下3ケタ (1円~900円台)	12
		無回答	2
		無効	1
9	もし下3ケタ (1円~900円台) から始められる投資があった場合、どう思いますか	A ぜひやってみたい	18
		B 少し興味がある	35
		C やらないと思う	47
		D 投資先による	15
		無回答	3
10	(9でCと回答した方) 下3ケタ投資をやらないのはなぜですか	A そもそも投資に興味がない	37
		B 下2ケタや1ケタならやる	0
		C その他	8
		無回答	2

図表 9 計算表

(前提)

日本の人口は約 1 億 2700 万人（平成 21 年 統計局調べ）であるが、少なくとも見積もって 1 億 2000 万人とする。また、アンケート結果より、一般消費者の平均の預貯金口座保有数は 2.41 口となっているが（図表 8 質問 1 参照）、少なくとも見積もって 1 口とする。さらに、「下 3 ケタ投資」に前向きな回答は 45%であったが、こちらも少なくとも見積もって 10%とする。

日本の人口のうち 10%の人数が「下 3 ケタ投資」を 1 年間実行すると仮定し、集まる金額を計算する。

日本の人口：1 億 2000 万人

日本の人口のうち、「下 3 ケタ投資」を実行する人数割合：10%

「下 3 ケタ投資」を実行する人の口座数：1 口

1 ヶ月ごとの投資金額：500 円（1～999 円の平均額）

投資回数：12 回（1 年間の投資）

(計算式)

$$120,000,000 \times 0.1 \times 1 \times 500 \times 12 = 720 \text{ 億円}$$

(結果)

仮に日本の人口（1 億 2000 万人）の 10%が 1 年間「下 3 ケタ投資」を実行すれば、720 億円を集めることが可能である。

※計算表内および本文 6 章内の計算は、小数点第一位を四捨五入して計算した。

補足（アンケート調査概要）

調査対象	10代～60代男女																														
調査期間	2011年7月～2011年9月																														
調査場所	イオンシネマ越谷レイクタウン ダンスホールアントワープ 東京経済大学 (五十音順)																														
回答数	<p>回答者：118人</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">回答者の年齢構成</p> <table border="1"> <caption>回答者の年齢構成</caption> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10代</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>20代</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">回答者の職業構成</p> <table border="1"> <caption>回答者の職業構成</caption> <thead> <tr> <th>職業</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>社会人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>フリーター</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>専業主婦</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>無職</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年齢	人数	10代	4人	20代	34人	30代	19人	40代	21人	50代	23人	60代	16人	無回答	1人	職業	人数	学生	20人	社会人	50人	フリーター	6人	専業主婦	27人	無職	10人	無回答	5人
年齢	人数																														
10代	4人																														
20代	34人																														
30代	19人																														
40代	21人																														
50代	23人																														
60代	16人																														
無回答	1人																														
職業	人数																														
学生	20人																														
社会人	50人																														
フリーター	6人																														
専業主婦	27人																														
無職	10人																														
無回答	5人																														
回答形式	記入式及び選択式																														
アンケート調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 預貯金口座の所有数 ● ATMで硬貨を引き出す頻度 ● 投資への興味・関心 ● 「下3ケタ投資」への興味・関心 																														

補足（アンケート用紙）

<基礎データ>

職業：①学生 ②社会人 ③フリーター ④専業主婦 ⑤無職

年齢：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代

<ATM、投資に関する質問>

質問を読み、最も当てはまる選択肢の1つに○を付けてください。

1. 預貯金口座をいくつお持ちですか
()つ
2. ATMで硬貨（預金残高の下3ケタ）を引き出したことはありますか
A 頻繁に引き出す B 頻繁ではないが引き出す
C 1~2回引き出したことがある D 全くない
3. (2でB~Dと回答した方) 頻繁に引き出さないのはなぜですか
A あまり引き出す必要性を感じたことがない
B 引き出したくとも引き出せない
4. 投資に興味がありますか
A 興味がある B 興味がない
5. (4でBと回答した方) なぜ興味を持ってないのでしょうか (複数回答可)
A 難しそう B お金がたくさんかかる C 魅力的な投資先がない
D その他 ()
6. (4でAと回答した方) 実際に投資をしたことがありますか
A ある B ない
7. (6でBと回答した方) なぜ興味があっても投資をしないのでしょうか (複数回答可)
A 難しそう B お金がたくさんかかる C 魅力的な投資先がない
D その他 ()
8. (5または7でBと回答した方) いくらからなら投資してもよいと思えますか
A 下5ケタ (1万円~9万円台) B 下4ケタ (1千円~9千円台)
C 下3ケタ (1円~900円台)
9. もし下3ケタ (1円~900円台) から始められる投資があった場合、どう思いますか
A ぜひやってみたい B 少し興味がある C やらないと思う
D 投資先による E その他 ()
10. (9でCと回答した方) 下3ケタ投資をやらないのはなぜですか
A そもそも投資に興味がない B 下2ケタや1ケタならやる
C その他 ()

-
- i 自然エネルギーは枯渇することのない再生可能なエネルギーであることや、太陽光発電、水力発電等は窒素酸化物を排出しないクリーンなエネルギーであるといった点が優れている。
- ii 自然エネルギーの定義は、「自然エネルギー白書 2011」を参照した。
- iii 本稿では「下 3 ケタ投資」を GF に利用する提案をするが、GF に限らず、様々な投資先でこの「下 3 ケタ投資」が利用されることが期待される。
- iv 投資家が「下 3 ケタ投資」に用いる口座として、給与の振り込みや公共料金の引き落としなど、毎月金銭の出し入れがある口座を推奨する。金銭の出し入れが全くない口座の場合、下 3 ケタの変動がなく、下 3 ケタを投資した翌月の下 3 ケタがゼロになり、投資が滞ってしまうためである。万が一 3 ケタがゼロになる月があった場合、その月は 1 円を投資し、翌月も金銭の出し入れがない場合、999 円を投資する。
- v 本稿でいう金融機関とは、投資家が所有する口座を管理している銀行や郵便局のことを指す。
- vi 金融機関は、下 3 ケタの送金に対する手数料を 2~3% の上限で設定し、投資家の GF への申し込みを代わりに行うことによる手数料を 1~2% を上限として、合計で 3~5% の範囲で手数料を得られることを検討しているが、これは今後も検討すべき課題である。
- vii 例えば、「マイページ」上で自然エネルギーをテーマにした川柳を募集するなど様々なイベントを考えている。
- viii 現行の GF の一例として、リターンの他に、投資家に対して対象事業の成果見学と観光、スタッフや投資家同士の交流を兼ねた出資者ツアーを開催している。出資者ツアーは、自然エネルギーへより高い関心と理解を示すきっかけになりうる。しかし、私たちが目指しているのはツアーのような一時的なものではなく、投資家が継続的に時間や場所を問わず自然エネルギーと向き合い、理解を深めていけるようなサービスの提供である。
- ix 投資家は、GF に「下 3 ケタ投資」を開始してから一定期間投資を続ける。これは、「マイページ」の入退会を繰り返し、GF 側の「マイページ」運用コストを加算させることを防ぐためである。
- x 「マイページ」運用コストには、「マイページ」サイトの管理・運営費、投資家へのプレゼント代金、プレゼントを送る送料などが含まれる。
- xi 私たちは、デポジットを徴収することで投資家のリターンを減少させてしまうことを危惧している。一方で、東日本大震災の復興支援として運用額の 0.36% を毎年寄付する大和証券投資信託委託の「ダイワ・ニッポン応援ファンド Vol. 3 フェニックスジャパン」の運用資産が 200 億円を超えた。このように運用報酬の一部を義援金として寄付したりする「復興支援ファンド」の運用総額は、今年 8 月 26 日時点で 1500 億円規模にまで拡大している。これらリターンの一部を減らしてでも意味のあるファンドには資金が集まることを考慮すると、「マイページ」運用のためのリターンの減少に関しては、減少分を上回る自然エネルギー理解のメリットがあれば十分可能と考えることもできる。